

# 防災ラジオを 設置してください

地震当日、役場には防災ラジオの新規貸出の申し込みに来た人や、防災ラジオを持ってはいたけど日ごろから充電をしておらず、充電の切れた防災ラジオを交換に来た人などが多くの方が訪れました。

このような事態を今後避けるためにも、今一度防災ラジオの使い方を「ご確認ください」。また防災ラジオをまだお持ちでない町民世帯や事業所がありましたら、早めに役場で申し込みをし、お受け取りください。

ラジオは非常時の有効な情報取得手段です

停電になると、テレビが見られなくなり、さらに携帯電話などの通信機器の電池が切れると充電ができず、災害な

電池の劣化にご注意ください！

防災ラジオ本体の電池収納部分を見ると、電池交換推奨時期が過ぎているものがあります。時期が過ぎてもそのまま使用することはできませんが、各ご家庭での防災ラジオの使用頻度などにより、電池の劣化の度合いが異なります。しっかりと充電がされている場合、防災ラジオからアダプタをはずした後も1日から2日は非常用として使うことができます。充電ランプが点灯していたのに数時間で電池が切れてしまう時などは、電池の劣化が考えられます。

11月から、役場で充電電池の交換を行いますので、希望する人はご自宅の防災ラジオを役場までお持ちください。また、それぞれの家庭でも充電電池を購入するなど用意しておくことをおすすめします。

※役場で交換する場合、電池の在庫状況によりすぐに交換ができない場合もありますので、一度ご連絡をいただくスムーズです

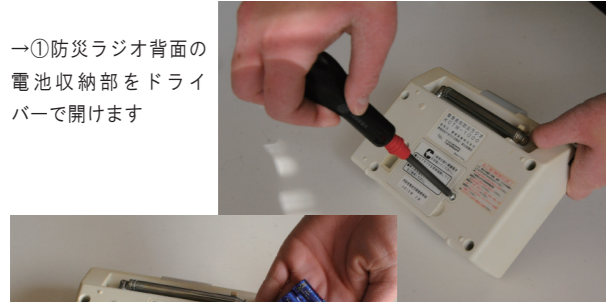


新しいラジオは充電が少ないため、役場の一角で充電をしながら防災ラジオの貸し出しが行われました

今回のような災害が発生した際など、町ではホームページやツイッターなどのSNSのほか、町のコミュニティFM「ラジオニセコ」でも随時情報を発信します。ラジオニセコは、町からのお知らせを得るのに有効な手段です。

もし、非常時に使用している防災ラジオの電池が切れてしまったら、市販の乾電池でも代用することができます。ただし、緊急時のやむを得ない場合の手段ですので、通常時に市販の乾電池は入れないでください。また、乾電池を入れたままアダプタ（コンセント）をつないで通電すると発火などの恐れがあります。アダプタ（コンセント）を使用するときは必ず元の充電電池を本体に戻してください。

非常時に充電が切れてしまったら？



①防災ラジオ背面の電池収納部をドライバーで開けます



②中の充電電池を取り出し、お持ちの電池と入れ替えます

電池交換のしかた  
※乾電池を入れた場合、コンセントにつなぐときは必ず元の電池に戻してください

**故障はしていませんか？**

防災ラジオを何度か使っていると、本体が故障してしまうことがあります。特に、電源を入れたり音量を調節するダイヤルが故障しやすくなっています。故障した防災ラジオは役場へお持ちいただくと、修理済みの防災ラジオと交換いたします。

**こんな症状がないかチェック！**

- ダイヤルが回らない
- ダイヤルを回しても止まらない
- 音量が調節されない

そのほか、正しく防災ラジオを使っているのに放送が流れないなど、故障かな？と思った時は、ご連絡ください。



非常時に役立つ防災ラジオですが、日ごろから正しく使うことができていないと、いざという時に活用できない場合があります。防災ラジオを箱の中にしまい込んでいては、災害時に使うことができません。この機会に、防災ラジオの使用方法を再度確認してください。

**ご家庭の防災ラジオ、正しく使っていますか？**

**★受信ランプは点灯していますか？**

防災ラジオは「受信レベル」のランプが点灯の状態、電波を受信することができます。点滅状態では自動起動による緊急のお知らせなどを受け取ることができません。付属のアンテナを伸ばし、窓際に設置するなど、電波の受信環境の良い場所にラジオを設置してください。また、屋外アンテナを設置しているご家庭では、ケーブルをきちんと接続し、ラジオを受信できる状態にしてください。

**★電源アダプタをコンセントにつないでいますか？**

本体に内蔵されている電池が充電されていないと、非常時に防災ラジオを使うことができません。防災ラジオは常に電源アダプタをコンセントにつないでいる状態にしてください。電池がしっかりと充電されると「充電」ランプが点滅から点灯に変わります。

電池や本体の交換は役場で行っていますが、高齢者など事情により役場へ来るのが困難な人は、連絡をいただく担当者のご自宅へ交換にうかがうことも可能です。そのほか、防災ラジオでお困りの際は気軽にご連絡ください。

防災ラジオに関するお問い合わせ・お申し込みは企画環境課広報聴係まで  
Tel 0136-44-2121  
担当=坂口・島田